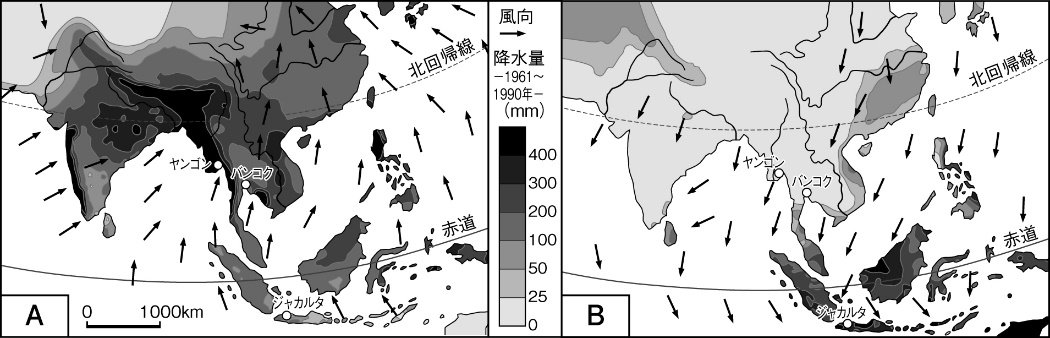
**第２部　国際理解と国際協力**

部分サンプル　※本資料はサンプルのため、内容が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

**第１章　生活文化の多様性と国際理解　　２節　世界の気候と人々の生活**

**選択事例　自然１　　モンスーンの影響を受ける地域での生活　-東南アジア-**

**【問１】ユウダイさんたちは自然環境が東南アジアの人々の生活に与えてきた影響について調べることにした。以下の図と会話文を参考にして、以下の問いに答えなさい。**



［図1］

**ダイアグラム

自動的に生成された説明**

（Ｃ）の伝播

（Ｄ）の伝播

［図2］

**ユウダイさん　　［図1］は二つの違う月の降水量を地図に表したものなんだって。**

**ケイジュさん　　Ａの月は降水量が多く、Ｂは降水量が少なくなっているね。**

**ユウダイさん　　風向の矢印を見ると、Aは海のほうから吹いていて、Bは大陸のほうから吹いているね。**

**ケイジュさん　　季節によって風向が変わる風。これを（　①　）っていうんだよね。**

**ユウダイさん　　この風が吹くことによって、東南アジアにさまざまな文化がもたらされたんだね。**

**ケイジュさん　　確か授業のときに、東南アジアでは5～10月ごろに（　②　）からの（　①　）が吹き、11～4月ごろに（　③　）からの（　①　）が吹くって勉強したよね。**

**ユウダイさん　　思い出した！そうだったね。**

部分サンプル

**ケイジュさん　　つまりAの地図は（　④　）月、Bの地図は（　⑤　）月の地図なんだね。**

**ユウダイさん　　［図２］は主な交易ルートと宗教がどのように伝わってきたのかを表しているんだね。**

**ケイジュさん　　調べてみると、東南アジアの国々では、その国の言語だけでなく、ａ中国系やインド系の言語を使用する人々が同じ国に住んでいることが分かったよ。これもさまざまな地域の人たちが行き来した影響なんだね。**

**ユウダイさん　　そう、でも交易だけでなく、ｂ19世紀ごろに進んだ植民地化の歴史もあって、さまざまな地域の言語や宗教が混在しているみたい。**

**ケイジュさん　　（　①　）という自然環境が与えた影響や歴史的背景が地域の多様性を生み出していることがよく分かったね。**

**（１）会話文の空欄（　①　）～（　⑥　）に適する語句を、下のア～オから選んで答えなさい。**

**（思考・判断・表現）**

**ア　７　　　　イ　季節風　　　　ウ　南西　　　　エ　１　　　　オ　北東**

**（２）［図2］の凡例中の（Ｃ）と（Ｄ）に入る宗教を答えなさい。（知識・技能）**

**（３）下線部ａについて、海外在住中国人のうち、居住地の国籍を有する人々のことを何とよぶか答えなさい。（知識・技能）**

**（４）マレーシアでは中国系住民が、マレー系住民よりも経済面で優位に立つことが多く、対立が起こることもあった。そこで、両者の格差を是正するための政策がとられたが、その政策の名称を答えなさい。（知識・技能）**

**（５）下線部ｂについて、下の［図3］は20世紀初めの東南アジアの植民地を表した地図である。また、［図4］は現在の東南アジアのある国の街角を撮影したものであるが、これがどの国であるか、その理由も含めて答えなさい。（思考・判断・表現）**

**マップ

自動的に生成された説明屋外, 人, テーブル, 座る が含まれている画像

自動的に生成された説明**

［図4］

［図3］

**【問２】下の［図5］を見て、以下の問いに答えなさい。**

部分サンプル

（１）［図5］はコーヒー豆・米・天然ゴムの生産上位10か国を示した図である。Ａ～Ｃの農産物を答えなさい。（思考・判断・表現）

(%)

(%)

(%)

　　　　　　　　Ａ　　　　　　　　　　　　 Ｂ　　　　　　　　　　　　　　Ｃ

|  |  |
| --- | --- |
| ブラジル | 30.0 |
| **あ** | 16.8 |
| コロンビア | 8.8 |
| **い** | 7.6 |
| エチオピア | 4.8 |
| ホンジュラス | 4.7 |
| ペルー | 3.6 |
| インド | 3.2 |
| ウガンダ | 2.5 |
| グアテマラ | 2.2 |

|  |  |
| --- | --- |
| タイ | 33.1 |
| **い** | 23.6 |
| **あ** | 8.1 |
| インド | 6.9 |
| 中国 | 5.7 |
| コートジボワール | 4.5 |
| マレーシア | 4.4 |
| フィリピン | 3.0 |
| グアテマラ | 2.4 |
| ミャンマー | 1.8 |

|  |  |
| --- | --- |
| 中国 | 27.7 |
| インド | 23.5 |
| **い** | 7.2 |
| バングラデシュ | 7.2 |
| **あ** | 5.8 |
| タイ | 3.8 |
| ミャンマー | 3.5 |
| フィリピン | 2.5 |
| パキスタン | 1.5 |
| カンボジア  (2019年)［FAOSTAT］ | 1.4 |

［図5］

（２）下のア～エは、東南アジアのある国における農産物の生産の状況を説明した文である。［図5］中の「あ」「い」の国について説明した文をア～エから選び、それぞれ国名を答えなさい。

（思考・判断・表現）

ア　この国はかつて天然ゴムの生産が盛んであったが、現在は油やしの生産が盛んになっている。

　　イ　この国は大河川のデルタで米の三期作が行われるだけでなく、コーヒー豆や天然ゴムの生産も盛んになってきている。

ウ　この国の人口は東南アジア最大で、米のほか、コーヒー豆やカカオ豆、油やしの生産が盛んである。

エ　この国の米の輸出は世界でもトップレベルにあるほか、天然ゴムやさとうきび、油やしの生産が盛んである。

**【問３】　東南アジアの国々の輸出品の変化について、次の問いに答えよ。**

部分サンプル

(１)　[図6]はおもな国の輸出品の変化を表したものである。Ａ～Ｃには、インドネシア、タイ、マレーシアのいずれかが該当する。Ａ～Ｃの国名の組み合わせとして、最も適切なものを次の①～⑥から一つ選び、番号で答えなさい。（思考・判断・表現）

Ｃ

Ｂ

Ａ

**ダイアグラム

自動的に生成された説明**

［UN Comtrade］

［図6］

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| **Ａ** | インドネシア | インドネシア | タイ | タイ | マレーシア | マレーシア |
| **Ｂ** | タイ | マレーシア | インドネシア | マレーシア | インドネシア | タイ |
| **Ｃ** | マレーシア | タイ | マレーシア | インドネシア | タイ | インドネシア |

(２)Ａ～Ｃの1960年代の輸出品の多くは、特定の農産物や鉱産資源に依存している。このような経済を何というか答えなさい。（知識・技能）